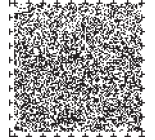




平成 28 年 7 月 1 日
第 112 号
発行 福岡視力障害センター
〒 819-0165 福岡市西区今津 4820-1
(電話) 092 (806) 1361
(FAX) 092 (806) 1365
ホームページ
<http://www.rehab.go.jp/fukuoka/>
印刷 社会福祉法人 福岡コロニー



就労移行支援(養成施設)入所式

平成28年4月11日(月)、就労移行支援(養成施設)の入所式が今年度も無事行われ、男性9名、女性1名、計10名の方が新規利用を開始されました。入所式開始前は不安な表情が見られた新入生でしたが、在所生からの温かいお祝いの言葉、決意等が述べられた新入生代表の言葉と式が

進むにつれ、少しずつ緊張がほぐれた表情に変わってきました。国家資格取得に向けてのこれからの3年間、決して楽な期間ではありませんが、明るいであろう先をイメージして、この日温かく迎えてくれた先輩の後に新入生みんなが続いてください。

新入生代表挨拶(誓いの言葉)

春光うららかな季節、私たち新入生は今日この福岡視力障害センターでの入所式を迎えることが出来ました。ここに至るまでは、新入生それぞれに将来への不安や葛藤もあったと思います。このような私たちが今日ここで新たに一步を踏み出すことが出来たのも、ご列席いただいている皆さまや、周囲で温かなご支援をくださった方々のご尽力あってのものだと思います。

本年度より障害者差別解消法が施行されました。少しずつですが、私たち障害者に対してより優しい社会になってきていると感じます。この変

わりゆく世の中で、次は私たちがどのように社会貢献できるか考えることも必要だと思います。

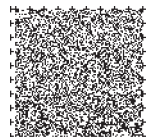
これから私たちは三療師を目指して、3年間の課程を歩むこととなります。私は昨年4月より自立訓練生としてこのセンターに入寮しておりました。その間、勉学に励む諸先輩方の姿を見てきましたが、その必死さと苦悩を肌身で感じておりました。

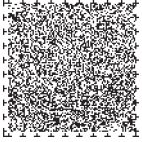
その過酷な道を歩み始めれば、私たちも新たな壁にぶつかることもあると思います。しかしそれに負けることなく、この恵まれた環境の中で互いに協力し助け合いながらも切磋琢磨し、確かな知識と技術を持って3年後の資格取得を目指したいと思います。

職員の皆さま、ご家族の皆さま、諸先輩方、今後ともご支援・ご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

これを以ちまして、誓いの言葉とさせていただきます。

平成28年4月11日
新入生代表 山崎 惇





新入生の抱負

1年A組

Y. Iさん

センターに通学して早いもので3か月が経過しました。入学当初は様々な不安が存在していましたが、先生方の視覚への配慮のおかげで授業に対する不安は全くなくなりました。感謝しています。自分の当面の目標はクラスの皆と一緒に卒業することです。それに向かって頑張りたいと思っています。

H. Oさん

甘くはなかった…!の一言です。突然目指した理療の道、専門用語など、ちんぷんかんぷん。さらに実技も並行してどんどん進んでいく…。覚えられないのを歳のせいにして、逃避する日々の中、先生方の温かいご指導とご支援、そして仲間たちからの激励のおかげで、今、まだ私はここにいます。そのかけがえのない今を失いたくなく、また、この歳で学べる幸せも実感し始めた今、なんとかついていきたいです。素晴らしい出会いに感謝!感謝!感謝!

匿名希望さん

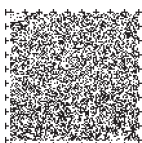
精一杯努力したいと思います。

川崎 清之さん

このセンターで習得できるスキルを確実に身に付け、試験合格に向けて頑張っていきたいです。みんなとのコミュニケーションを大事にし、楽しくセンター生活をおくりたいと思います。

山崎 惇さん

とにかく減量!目標値は退所するまでに60kgを切る!3年間の間に何か1つ以上得意なスポーツや楽器を見つける。



1年B組

嬉野 剛治さん

私は臨床工学技士の免許を所有しています。今回、「あん摩マッサージ指圧師」「はり師」「きゅう師」の免許取得を目指すことになりました。前者の資格は西洋医学の見方であり、後者は東洋医学の見方です。両分野の見方を持って、治療に従事できる医療人になりたいと思っています。

大津 史志さん

私がかこ視力センターに入所して専門職を習得するというをかかげてスタートしました。環境も一変し、自分の知らない知識・技術を得ることが出来るというのは、とても楽しく毎日を送っています。とはいえ、実際はとても知識・技術を得ることは簡単ではなく、かなり苦戦しております。これから一年間は「日進月歩」「日々コツコツと努力する」ことを忘れず頑張ります。健康管理をしっかりとやり仲間と楽しくやっています。

野口 続晃さん

4月から理教に入って、少しずつ勉強が難しくなってきましたが、今のところついていけると思うのでこれからも頑張ります。

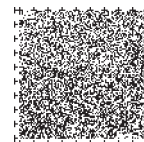
宮本 幸範さん

実技や座学を楽しく勉強し、センターのルールを少しずつ変えていく。

和田 英紀さん

私は現在53歳と結構な年でこの職業にのぞむことに際し不安がありましたが、勉強をすればするだけおもしろさと興味がわいてきて、今は自分自身の力によって人を癒し喜んでもらえる技能と知識を一刻も早く身に付けたく毎日頑張っています。

平成27年度国家試験結果と進路状況



国家試験結果

第24回あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師国家試験が当センターを会場に平成28年2月27日(土)及び28日(日)の両日に実施され、その合格者の発表が3月28日(月)に行われました。福岡センターの受験者数及び合格率などについては次のとおりです。

①現役受験者

	受験者	合格者	合格率
あま指師	10名	9名	90%
はり師	11名	9名	82%
きゅう師	11名	9名	82%

②再受験者

	受験者	合格者	合格率
あま指師	3名	0名	0%
はり師	5名	1名	20%
きゅう師	3名	0名	0%

③全国平均

	受験者	合格者	合格率
あま指師	1,687名	1,422名	84%
はり師	4,775名	3,504名	73%
きゅう師	4,732名	3,550名	75%

進路状況

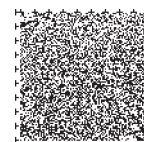
27年度卒業生の進路状況について、以下のとおり報告します。

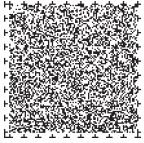
(H28. 7. 1 現在)

進路	人数(人)
訪問マッサージ	2
ヘルスキーパー	3
就職活動中	4
その他	2
合計	11

平成28年度年間行事予定表

- | | |
|--------------------------------|---|
| 4月6日(水) 始業式
前期開始(~9月23日(金)) | 11月20日(日) Eyeあいフェスタ
(視覚障害者福祉フェスティバル) |
| 11日(月) 入所式 | 11月24日(木) 総合防災訓練 |
| 12日(火) 臨床研修コース開講式 | 12月15日(木) スポーツ訓練発表会(後期)
もちつき大会 |
| 15日(金) 新利用者ハイキング | 17日(土) 冬期休業(~1月10日(火)) |
| 6月21日(火) スポーツ訓練発表会(前期) | 2月24日(金) 再理療教育閉講式 |
| 7月16日(土) 夏期休業(~8月28日(日)) | 25日(土) 第25回あん摩マッサージ指圧師国家試験 |
| 7月12日(火) 総合防災訓練 | 26日(日) 第25回はり師・きゅう師国家試験 |
| 7月18日(火) 解剖見学実習 | 3月1日(水) 卒業式
終業式 |
| 8月7日(日) 卒後研修会 | 3月下旬 国家試験合格発表 |
| 9月26日(月) 後期開始(~3月1日(水)) | |
| 30日(金) 臨床研修コース閉講式 | |
| 10月3日(月) 再理療教育開講式 | |
| 10月15日(土)・16日(日)
卒後特別研修会 | |





平成28年度事業計画重点事項

1 サービスの向上(継続)

- (1) 昨年度の福祉サービス第三者評価、利用者満足度調査、利用者自治会との懇談会要望事項等を結果を踏まえ、サービス向上検討委員会で検討し、今年度の利用者サービス提供に反映させる。
- (2) 新たな法や制度等の理解を深め、処遇技術の向上を図るために各種研修会を企画推進し職員の資質向上や意識の改革を図る。
- (3) 昨年度利用者の健康管理や利用者の歯科保健指導及び自己管理能力の向上を図る目的で取り組んだプロジェクト(歯科検診・ブラッシング指導・口腔ケア等)を継続して実施する。

2 利用率の向上(継続)

- (1) 各県において自立訓練体験プログラムを試行的に実施するとともに、当該地域の視覚障害者のニーズ把握や実を把握しながら当センターでのサービスを図り、センターでのサービス利用につなげていく。
- (2) 高齢視覚障害者の訪問相談・訪問訓練を行うため、積極的に近隣の眼科、相談支援事業所、包括支援センター等と引き続き連携を図る。

3 自立訓練の充実(継続)

- (1) 各訓練の指導技術の向上や、職員があらゆる訓練に対応できるようにするために、勉強会の実施やマニュアルの活用や公開訓練等を積極的に実施するとともに、臨床データをもとにケースカンファレンスを行う。
- (2) 昨年度の全センターで統一された訓練記録表に基づいて作成されたデータの蓄積結果を受け、マニュアルの改訂を順次行う。さらに、利用者の利用データを蓄積しながら他センターと比較検討を行い、訓練等に反映させる。

4 教官特別講座の充実(新規)

臨床をコアに据えた理療教育を推進するために、長期休暇(夏期・冬

期)中の支援において、全教官が総力をあげて実技・臨床に係る教官特別講座の充実を図ることとし、前年度実施回数(17回)の20%増を目標とする。

5 進路支援の強化と就業率の向上(継続)

- (1) 早期に進路決定ができるよう1年次から学年別進路支援講座、進路相談や情報の提供を行い、正課授業の中で反映されるよう取り組んでいく。
- (2) 進路の選択に必要な情報を適切に提供できるよう、これまでの就労状況の実態を調査し報告書を作成する。

6 到達度チェックの拡大(新規)

あはき師国家試験の合格率の維持・向上を図るため、到達度チェックの受験者について学年拡大を図りながら、早期から受験を意識した指導を展開していく。

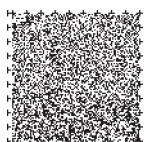
7 独自事業における能動的学修の実践(継続)

再理療教育においては、前期の通信指導を強化し、3年間の振り返りを支援する体制を構築させる。

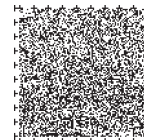
また、臨床研修コースにおいて利用者による目標設定及び自己評価を実践し、目標の達成に向けた授業を展開させる。

8 普及啓発活動・地域貢献の取組み(新規)

- (1) 一般市民等を対象として視覚障害者の自立への理解を深めるための啓発活動を企画し積極的に取り組む。(E y e あいフェスタ、訓練公開、暗闇体験、研修会等)
- (2) 地域や団体の企画作成に役立ててもらうための支援者講習会パンフレット(仮称)を作成し、学校や関係機関等に配布する。
- (3) 昨年度福岡Apple社と連携し、発足させたタブレット端末等を利用した「地域貢献を図るためのICTプロジェクト」を今年度は「ICT地域貢献プログラム」を策定し実践に移行する。



センターに関するQ&A



Q：就労移行支援（養成施設）の訓練期間は3年間と聞いていますが、1年にはなりませんか。また、自立訓練（機能訓練）は18ヶ月以内とあるのですが、実際はどれくらいの期間訓練があるのでしょうか。

A：就労移行支援（養成施設）は、あん摩マッサー

ジ指圧師、はり師、きゅう師の国家試験受験資格を習得しますので、あはき養成認定規則上3年の修業期間が必要です。一方、自立訓練では、個々人の身につけたい生活技能を中心に訓練を行います。標準期間は18ヶ月以内となっておりますが、平均4ヶ月程度の訓練で終了しています。

職員の異動

平成28年3月31日付

〈定年退職〉

前田 貴子（教務課主任教官）

平成28年4月1日付

〈転出〉

谷口 勝（教務課長）

国立障害者リハビリテーションセンターへ

藤井 徹（教務課教官）

神戸視力障害センターへ

川添 一郎（支援課機能訓練専門職）

国立障害者リハビリテーションセンターへ

〈転入〉

島村 明盛（国立障害者リハビリテーションセンターより）

教務課長

関口 雄介（国立障害者リハビリテーションセンターより）

支援課機能訓練員

〈新規採用（任期付）〉

安河内 尊士

支援課生活支援員

井口 早苗

支援課保健指導専門職

〈再任用〉

前田 貴子

教務課教官

新職員の紹介

【教務課】 島村 明盛

島村明盛と申します。教務課長として今年4月所沢リハセンターから着任しました。着任して日をおかず始業式、入所式とあわただしく過ぎたと思えば博多山笠の時期になってしまいました。得意分野は、臨床系で特にスポーツ外傷・障害です。皆様のご協力を得ながら『明るく楽しく』を信条に福岡の地で頑張ります。

【支援課】 安河内 尊士

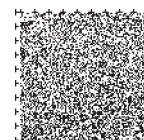
昨年度までは、教務課で非常勤講師をしておりましたが、今年度は、支援課で自立訓練に関わりながら、教務課で人文科学概論の授業を担当しております。両課を跨ぐ形での採用となりましたが、席は支援課にあります。福岡生まれ、福岡育ちの生粋の博多っ子です。どうぞよろしくお願いいたします。

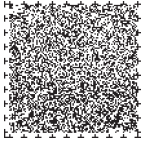
【支援課】 関口 雄介

埼玉県所沢市にありますが、国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局生活訓練課より転任して参りました関口雄介と申します。視力障害センターでの勤務は初めてで、多くのことを学び、習得し、利用者様一人一人に還元できるよう努めたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

【支援課】 井口 早苗

保健指導専門職を担当しております井口です。今津のBGMは鶯から蝉しぐれに変わり、同時期入所の1年生や自立訓練生の皆様の成長ぶりに目を見張る毎日です。私も置いて行かれないようしっかりと利用者を理解し健康管理の支援を行っていきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。





平成28年熊本地震で被災された方へ

平成28年熊本地震により犠牲となられた方々に、心よりお悔やみ申し上げます。また、避難生活や家屋等の損壊等でご苦勞をされている方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。当センターでは、各自自治体（県・市町村）からの受け入れ要請に基づく被災者受け入れ対応の準備があります。当センター卒業生・修了生の方に関しては別途ご相談させていただきます。

利用者募集

1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービス名	サービス内容	利用開始日	利用申請受付
自立訓練 (機能訓練)	歩行訓練、点字訓練、パソコン訓練、タブレット訓練、日常生活訓練（身辺処理・調理等）、スポーツ訓練、視覚的補助具の紹介、教養等	随時 (原則として月曜日)	随時
就労移行支援 (養成施設)	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験受験資格取得に向けた学習、進路支援等	毎年度 4月上旬	年3回

※通所が困難な方に、宿舎・食事・生活支援等を行う「施設入所支援」サービスも提供しています。

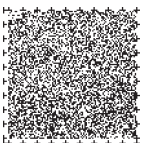
2 利用に関するお問い合わせ

サービス内容や利用料等の詳細、パンフレット・紹介ビデオ（DVD）等の送付、施設利用のお申込み、見学をご希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

電話：092-807-2844（支援課直通）

092-806-1361（代表）

Eメール：shienka-fukuoka@rehab.go.jp



編集後記

新年度を迎えて 専門課程2年 K.A

新年度を迎えて感じることは、やはり、時間の大切さです。1年間は過ぎてしまえば本当にあつと言うまででした。新利用者の皆さんも、めまぐるしい日々の変化に不安や緊張を感じると思います。それぞれの目標に向かって日々ワクワクした気持ちで取り組んで行けたら1年後、驚くほど成長していることでしょう。充実したセンターを送れるよう互いに励ましあっていきましょう。

新入生を迎えて 専門課程2年 Y.O

自分自身、入学当初を振り返り、慣れない環境に来て精神的にも眠れない日々が続いてました…。まず共同生活の難しさ、勉強内容の難しさ、先輩方との交流で知るこれからの進路とまだまだ不安はつきませんが、負けずに着地点を見据えて在所中の皆さん卒業生の方々と共に頑張っていきたいと思えます。